



熊本県代協ニュース

〈発行者〉 一般社団法人 熊本県損害保険代理業協会 会長 井上浩一 文責:永村 哲宏
 熊本市南区近見 7 丁目 8 番 45 号 TEL 096(288)1512 FAX 096(288)1513
 E-mail info@k-daikyo. or. jp
 熊本県代協ホームページ(URL) http://www. k-daikyo. or. jp

平成 28 年熊本地震により被災された皆さまに 心よりお見舞い申し上げます。

このたびの熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災されました皆様の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

熊本地震について

4 月 14 日、16 日に発生しました熊本地震は震度 7 が続けて発生し、本震の前に前震が発生するという観測史上初めての事態が発生し、その後も 1800 回を超える余震が続いています。また熊本県代協会員も自ら被災しながらも、懸命にご契約者の地震保険支払いに向け対応し順調に支払いが進んでいます。

これから私たちはこの経験を踏まえ自然災害に対する啓発と火災保険・地震保険の普及をさらに加速していきたいと思っております。現在 9 割ほどのお客様へ地震保険金をお支払いしています。鑑定・判定の問題はありましたが、ほぼご契約者から感謝のお言葉をいただき私たちの使命・責任を果たせたものと思えます。今後の油断することなく我々の使命を果たしていこうと思えます。

また今回の地震に際して日本代協をはじめ各県代協から多くの義援金・支援物資をいただいています。被災した会員の皆様へ有意義に使わせていただきたいと思います。

この場を借りて、ご支援していただきました日本代協・各都道府県代協の皆様に心より感謝申し上げます。

【熊本地震に係わる地震保険の支払い件数、金額について】 日本損害保険協会ホームページより

	事故受付件数	調査完了件数	支払件数	支払保険金(千円)
熊本県	211,114	201,778	186,684	312,006,363

(2016 年 6 月 27 日 (月曜) 現在:協会会員会社・非会員会社合計)

【熊本県代協正会員の被災状況】

熊本県代協独自アンケートより

	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊	
	事務所	自宅	事務所	自宅	事務所	自宅	事務所	自宅
件数	2	2	4	1	7	10	39	50

会員数：253 回答数：108 回収率：42.7% 6月10日現在

※被害状況を回答していない会員の方は、回答をよろしくお願いいたします。

(熊本県代協に届いた義援金の分配について基礎の数値となります)

**第51期 平成28年度 通常総会
会員懇談会・懇親会開催**

平成28年5月18日(水) ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて、第51期通常総会を開催しました。地震後1カ月での開催となり、総会特別セミナーを延期、懇親会を中止して、時間を短縮して開催しました。52名の正会員が出席し、議事では、7議案について審議され、全議案が可決・承認されました。

後半では優秀支部として健軍支部(岡本支部長)が表彰されました。

また退任する役員へ感謝状が渡されました。

最後は各代協からの支援物資を手に出席者にて記念撮影を行いました。

総会に先立ち、井上会長から、下記の挨拶がありました。



本日は熊本県代協第51期通常総会にご出席いただき誠にありがとうございます。

平成27年度は11支部会員の皆様、各委員会の皆様、各保険会社のご協力により日本代協事業推進三本柱である会員増強、国民年金基金の加入推進、損害保険大学課程コンサルティングコース受講申し込みの目標を全て完遂し前年度に続き栄誉ある三冠王2連覇を達成することができました。皆様のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

昨年の熊本県代協創立50周年記念式典においては日本代協岡部会長をお迎えし盛大に開催し、その存在感、組織の一体感を内外に感じ取っていただけたことと思います。無事盛会にて終了し新たな50周年に向けスタートを切りました。

ご協力いただいた役員・会員の皆様に改めて御礼申し上げます。

改正保険業法の施行も直前となりました。これまで十分に時間をかけ保険募集管理体制の構築を策定してこられたと思います。すべては社会や消費者・契約者の信頼を勝ち取り保険のプロとして永続して成長していくための布石であります。改正保険業法により今まで以上の重い社会的責任が私たち保険代理店には課せられますが決して怯むことなく社会に確固たる存在価値を示して参りましょう。

熊本県代協は平成28年3月末で255点の会員組織となり県内専業代理店に占める正

会員の組織率は 58.6%となりました。47 都道府県で第 7 位の組織率で日本代表の事業推進にも大きく貢献しております。みなさまの保険代理業に対する意識の高さの表れと思われます。しかしながら代協事業の本当の姿をわかっている会員はまだまだ少なく不平や不満が漂っているのも事実です。分かるうとしなければわからないと思いますし、ただ受け身だけでは何も変わらないとも思います。情報が氾濫する時代において活きた情報を日本代協は発信し続けています。日本代協・熊本県代協のホームページや代協ニュースをぜひご覧になってください。また年一回発行される日本代協の『代協活動の現状と課題』を読まれていますか？知ろうとしたことの答えが掲載されているはずですよ。ぜひご一読下さい。

会長に就任して一期 2 年が過ぎました。皆様のためにどれだけお役に立てたのか甚だ疑問です。しかし組織の長として 1 日も代協のことを考えない日はありません。私たちはこの唯一無二の団体に何らかの形で守られている。この業界団体がなければ私たちはバラバラになることを必然です。2 期目に入り陣容も変わり新たな気持ち、確固たる心で事業推進して参ります。この業界を牽引していく若い方々の参加を期待します。保険業法の改正を自店の発展の絶好の機会と捉えそれぞれの自店の強みを見出し、繁栄の年度となるよう心より願っております。今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年度の組織図と年間計画につきましては、ホームページに掲載しています。ぜひご活用ください。

日本損害保険協会長が来熊

熊本地震の発生に伴い、損保協会の鈴木久仁協会長が 6 月 6 日に熊本県を視察し、熊本県代協の会員代理店 7 名と熊本地震に関する意見交換を実施した。鈴木協会長の代協訪問は 4 月 22 日に続いて 2 回目。

鈴木協会長からは 5 月 30 日現在の保険金支払い件数についての報告や、東日本大震災時よりも早い支払対応が図れていることなどの説明があった。

そのうえで鈴木協会長からは「代理店自身も被災しているなかで、保険会社と協力して契約者への素早い対応をしてくれたおかげだ」と謝辞をいただいた。

また会員代理店からは、実際に現場からのお客様からの声や、今後の地震保険の引き受けや、豪雨や台風での被害拡大についての心配などの意見が出た。



日本代協ニュース発行について

日本代協から『日本代協ニュース』が発行されています。内容確認をお願いします。

●5 月 26 日 第 289 号

「平成 28 年度第 1 回理事会開催」他

今後のスケジュール

7月1日 金曜	九州南ブロック協議会 鹿児島県
7月6日 水曜	第2回支部長委員長会 流通情報会館
7月8日 金曜	アイエス総会 30周年記念祝賀会
7月20日 水曜	第1回代協合同委員会 流通情報会館
7月20日 水曜	第2回理事会 流通情報会館
7月27日 水曜	委員長会・執行部会 流通情報会館
8月3日 水曜	第3回支部長委員長会 流通情報会館
8月5日 金曜	コンサルティングコース セミナー
8月15日 月曜	熊日新聞広告掲載予定
8月26日 金曜	日本代協・熊本地震 被災代理店座談会
8月31日 水曜	委員長会・執行部会 流通情報会館
9月7日 水曜	消費者懇談会 熊本テルサ
9月7日 水曜	第5回支部長委員長会 未定
9月28日 水曜	委員長会・執行部会 流通情報会館

年間スケジュールは熊本県代協のホームページにも掲載されていますので、ご確認ください。

平成27年度 三冠達成のご報告

熊本県代協は平成27年度の事業推進三本柱である

- ・会員増強
- ・国民年金基金の加入推進
- ・損害保険大学課程コンサルティングコース受講申込み

の目標を全て完遂し前年度に続き栄誉ある三冠を2年連続達成しました。

また6月14日に開催されました日本代協の通常総会において感謝状を授与されました。皆さまのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

編集後記

5月の通常総会より広報委員が変わりました。これまでの副委員長の立場から、委員長に代って仕事量の多さと責任の重さを感じながら作業を行ってきました。また今回は地震の影響もあり、内容を大幅に変更してお伝えしました。次回以降も、熊本地震関連の情報はもちろん、保険業法改正や代協の動きなど会員の皆様のお役に立つ情報をお伝えできればと思いますので、よろしくお願いたします。(永村哲宏)

今回の地震被害において勉強不足、力不足を感じることも多々ありました。地震保険だけでなくお客様におすすめする商品の内容や仕組みを募集人自身が理解し、お客様方へのご提案やご説明をよりわかりやすくできるよう、日々の努力を怠ってはならないと改めて感じた次第であります。

(原口紀彦)

熊本県代協 広報委員会